

スポーツ社会学

科目ナンバリング SPS-211
選択 2単位

高田 彬成

1. 授業の概要(ねらい)

現代におけるスポーツは、一部の特権階級の人々が享受していたものから、広く大衆の文化として人々の生活に浸透している。本講義では、スポーツの歴史を学びつつ、スポーツ文化を包括的に理解することを目的とし、中でも特に現代社会に特徴的と思われる視点について考える。

2. 授業の到達目標

- ① 現代社会における文化としてのスポーツ活動の意義や機能について考え、説明できる。
- ② スポーツのもつ様々な社会的課題とその解決方法について、自分の考えをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内課題・学習態度・意欲(40%)及び試験(60%)で、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特になし。講義レジュメ・資料を配付する。

参考文献

井上俊・菊幸一編著 「よくわかるスポーツ文化論」 ミネルヴァ書房 2012年

海老原 修 「現代スポーツ社会学序説」 杏林書院、2003年

5. 準備学修の内容

- ① 新聞のスポーツ欄を毎日読んでおく。
- ② テレビニュースでスポーツ関連のニュースをチェックする。
- ③ スポーツ関連の書籍を定期的に読む。

6. その他履修上の注意事項

- ① 授業マナー(携帯電話・スマートフォンの扱い、飲食等)を守る。
- ② スポーツ社会学に問題意識をもって主体的に取り組む。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション スポーツ社会学の意義とは何か
- 【第2回】 スポーツの誕生と歴史
- 【第3回】 教育・教養としてのスポーツ
- 【第4回】 スポーツパーソンシップとフェアプレイ精神
- 【第5回】 近代スポーツの普及と発展
- 【第6回】 スポーツにおける勝利至上主義
- 【第7回】 オリンピズムとスポーツ
- 【第8回】 スポーツ基本法とスポーツ基本計画
- 【第9回】 現代スポーツの特徴と生涯スポーツ政策の変容
- 【第10回】 スポーツの公共性とスポーツの社会的機能
- 【第11回】 スポーツとの豊かな関わり1「する」(スポーツ実践者としての楽しさや喜び)
- 【第12回】 スポーツとの豊かな関わり2「みる」(スポーツ観戦におけるスポーツとのかかわり)
- 【第13回】 スポーツとの豊かな関わり3「支える」(スポーツイベントの企画・運営としてのスポーツ参画)
- 【第14回】 総合型地域スポーツクラブの意義や役割とその課題
- 【第15回】 まとめと定期試験